



# 志高く!

教育目標  
 「志高く 逞しく 切り拓く」  
 生徒会スローガン  
 「麻生中ABCD+」  
 「考・動・皆・志」

◆麻生中学校だより◆  
 Tel 80-8070  
 Fax 77-0840  
<http://www.sopia.or.jp/n-asojh/>  
 行方市南327の3  
 令和2年4月7日発行  
 令和2年度 第1号

## ◆令和2年度がスタートしました!◆

新型コロナウイルス拡大防止に関する様々な対応へのご協力、有り難うございます。お陰様で、生徒たちは元気に登校し、無事、令和2年度第1学期始業式を迎えることができました。第9回目となる入学式を始め、様々な行事等が縮小傾向にありますが、限られた条件下で最大の成果を残すことができるよう、職員一同力を合わせて頑張っています。今年度もご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

始業式で生徒に伝えた今年度の基本方針を掲載します。

皆さん、おはようございます。桜の花は最盛期を過ぎましたが、それでも美しい花が令和二年度の始まりを祝ってくれているかのようです。

まずは、二年生、三年生の皆さん、進級おめでとうございます。今日は、令和二年度麻生中学校の新しい学年のスタートの日です。今年度は、明日入学する新1年生81名を加えた全校生徒270名と先生方27名の計297名で、スタートを切ることになります。

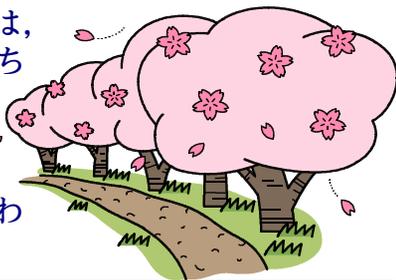
それでは、新年度のはじめにあたり、改めて校訓と教育目標を確認します。まず、校訓です。スクリーンを見てください。校訓とは、常に心に留めておく全ての基本となる言葉です。本校の校訓は、「学び 磨き 思いやる」です。以前にもお話ししたと思いますが、今から九年前に、麻生中学校と麻生第一中学校が統合して、現在の麻生中学校が誕生しました。その際に、二つの学校の生徒が良い意味で切磋琢磨することでお互いを高め合い、その結果、学校も確実に成長していくことを願って作られたものです。その意味を理解し、そして意識しながら頑張ってください。

そして、今年度の教育目標です。それは、「主体的に考え 判断し 勇気をもって行動できる」です。この目標が全ての活動の判断基準となってきます。例えば、体育祭、「自分は今、何をすることが、所属する団にとって最善なのか?」、修学旅行では、「この行事の目的を達成する為には、自分は何を心掛ければいいのか?」という感じです。しっかりと自分で考え、最適解を求め、勇気をもって行動して欲しいと思います。この考え方は、授業中や部活動でも同様です。皆さんだけではなく、我々先生たちも、いつでも心に留め置き頑張っていきます。皆さんが、この教育目標を意識して、生き生きと活動している姿を数多く見られることを楽しみにしています。

最後に大切なお願いです。それは、新型コロナウイルスの関係で、これからも様々な対応を迫られるかもしれません。その時は、皆で協力し、この危機を乗り越えて行きましょう。感染予防は、100人中99人が注意していても1人が不注意であれば、そこで感染は拡大すると言われていています。自分を守ることは周りも守るということを意識して生活してください。それから、感染等に関わる様々な情報が耳に入ってくるかもしれません。しかし、友人を傷つけるような言動は絶対に行わないとこの場で心に誓ってほしいと思います。

3年生は、最上級生として、これまでの先輩たちを超えるように、そして2年生は、明日入学してくる新入生の模範となるよう、努力してください。2・3年生の君たちには、それだけの力があると信じています。生徒の皆さんと先生方で、協力し合い、信頼し合いながら、過去最高の麻生中学校を創っていきたいと思っています。先生たちも、一生懸命にがんばりますので、共に頑張りましょう。

新学期に当たり、希望と大きな期待、そして大切なお願いをお伝えし、話を終わります。



## ◆令和2年度新任式・始業式◆

4月6日(月)に新任式、第1学期始業式を行いました。新任式では転入職員の紹介・あいさつを行いました。転入職員に対しましても前任者同様、温かく見守ってくださいますようお願いいたします。その後の始業式では、担任発表及び部活動顧問の発表を行いました。生徒からは、歓声があり、久しぶりに学校らしい活気を感じることができました。



**編集後記** 臨時休校措置や各種行事等の縮小は、2011年の東日本大震災以来です。あのときは、余震に怯えながらも目に見える驚異にだれもが畏怖の念を抱き、復興に向けて一丸となりました。しかし、今回は、目に見えない驚異に対して常にベストを尽くすことが要求されています。マスク不足等、問題は山積していますが、各々が智恵を働かせ、この危機を乗り越えていかななくてはならないのだと思います。今後、どのような状況になるか想像はつきませんが、一人一人が本気で自覚ある正しい行動をとることが、感染拡大防止へつながることは、間違いないようです。(文責：栗原秀雄)

本学校だよりは、学校のホームページ(www.sopia.or.jp/n-asojh/)にカラーで掲載していますのでご覧ください。